

# 心豊かな世代が育つ

## 童話の里づくり

443

ーシリーズー あなたの人權・わたしの人權

### 『相手に伝えるということ』

くす星翔中学校 3年生

私の友だちは、すぐに怒ったりすねたりすることが多く、いつもいやな気持ちになります。

これまでの人權の学習を生かして、自分を振り返ったり、自分が友だちに言った言葉を思い出したりしてみますが、自分には悪いところはないいつも思います。

なので、友だちに対して「なんで、そんなにすぐ怒るの」「すねて無視するの」と思っていました。

ある日、友だちがまた怒って話をしてくれなくなりました。私は、いつもそんな態度をとる友だちを見てイライラしてきました。

「なんで、いつも怒るの。何かあるなら、ちゃんと話してよ。わからないじゃん。」

と、強く言ってしまった。

すると、友だちは、

「なんで、さっき笑ってバカにした

の。ひどすぎ。それでそんな言い方!。」

と、強く言い返してきました。

私もかっとなって、

「なんなの。私、バカにしないし、勝手に決めつけないでよ。」

と、またさらに強く言ってしまった。

その後、友だちが怒る前の二人の会話を思い出していました。

それは、その日の休み時間のことです。友だちが描いた絵を私に見せてきました。

その絵は、とても上手で、それにとってもおもしろい表情をした顔の絵でしたので、

「この顔、おもしろいね。」

と、笑いながら言いました。

私は、ほめたつもりで言ったのに、友だちは急にどこかに行ってしまうし、そして、話をしてくれなくなりました。

思い出してみると、友だちが怒ったのは、このことだと気付きました。

でも、自分としては、ほめ言葉だったし、そんなに強く笑ったわけ

ではないのに、「どうして」とずっと考えていました。

家に帰って、本を読んでいると、あるセリフが目に残りました。私はそのセリフを見て「えー」と思いました。

本に出てくる人物は、私とは違う捉え方をしていました。ビックリしました。

そして、一人一人それぞれ言葉の捉え方が違うことに気付かされました。それに、友だちへ言った言葉にしっかりと責任を持っていなかったことにもとても反省しました。

友だちにしっかりと伝えようと思いました。

次の日、友だちのところへ行き、

「昨日はごめん。バカにしたつもりじゃないんだ。私の伝え方が悪かった。」

と、しっかりと思いを伝えることができました。

すると、友だちは

「私こそごめん。強く言っちゃって。」

と、言ってくれました。とてもうれしくスッキリしました。こうして、お互いの気持ちを伝えるとよい気持ちになるなと思いました。

このことをきっかけに友だちとの絆もより深まったなと思います。

この出来事を通して、四つのことに気付くことができました。

一つ目は、人は一人一人言葉の捉

え方が違うこと。

二つ目は、同じ場面でも思っていること、考えていることが違うということ。

三つ目は、相手に伝える時の伝え方がそれぞれ違うこと。

四つ目は、ひとつひとつの言葉に責任を持って口に出すことが大事だということ。

この四つのことを忘れないようにしていきたいです。もちろん、相手の言葉の捉え方も理解して、いろんな考えを知っていきたいと思います。そうすることで、もっと会話がしやすくなり、たくさんの人と話せるようになると思います。

このことをみんなにも伝えていきたいです。

この人權作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしております。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを、二〇〇字程度にまとめて、住所・氏名、連絡先電話番号を記入して(匿名可)、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人權」までお届けください。

